

われています。
政府の強いリーダーシップによって、道筋が示されることを望んでいます。

★本町の豊かな自然を生かした自然エネルギーの可能性について、調査研究する計画はないか。

鏡野町の主なエネルギー源は水力であり、その自給率は111.2%で、中国地方では1位となっています。

24年度におきましては、再生可能エネルギー対策として、太陽光発電、ペレットストーブ設置への予算化をお願いしているところであります。

今後は、多方面での自然エネルギーの可能性について検討します。

★地域経済循環を促進する、住宅リフォーム助成制度を創設しては。

他の補助事業、介護保険における住宅改修等の補助制度も行っており、一定の住民の住宅改修事業の要求にもこたえ、中小企業の仕事おこしにもつながっています。

と思っています。厳しい財政状況の中、現在のところ助成制度の創設は考えていません。

★大型有害獣であるいのしし、日本鹿の増加についての対策は。

町内に7班あります有害鳥獣駆除班にお願いしています。

移動する大型有害獣に対して、近隣の市町村とも連携を蜜にし、猟友会や駆除班へご相談を申し上げます。対応していきます。

★下水道終末処理水の残留塩素が河川に及ぼす影響について。

本町の下水道処理施設は11施設あります。奥津公共下水道施設をのぞく施設は一般的手法である塩素消毒を行い河川に放流しています。オゾン消毒あるいは紫外線消毒手法はまだ一般的でない聞いていますが、今後、水質対策手法について検討していきます。

★町長就任後（H22）の当初予算についての成果と反省で、①協働によるまちづくりの推進について、町民に浸透しているのか。

平成22年度より、12の地域づくり協議会が取り組んでいます。

平成23年度は採択された77事業について、それぞれ取り組み、広報誌に掲載し公表しています。

今後は情報交換の場をもつよう検討していきたいと思っています。

②美しいまちづくりの推進について、町民に目に見えた形になっているのか。

環境美化促進事業に町内75団体から申請があり、町内各地域におきまして、町民参加による沿道緑化、花の植栽等、毎年町民の方々による景観保全に取り組まれています。

③障がい者に対して、住み慣れた地域で自立と安心した生活を支えるサービスづくりとあるが、町長は直接対話をしたことがあるのか。

総会やその他の会等も時

間が許す限り出席させていただき、当事者の方々のお話を聞かせていただいています。

④集落営農組織の育成と農業の活性化の実態は。

農業持続化事業におきましては、町内9箇所の集落営農組織が出来上がり、うち4組織は法人化されています。小規模農家への支援としては、地域特産物振興事業の見直しを行ないました。津山農協等の協力を得て、園芸作物の栽培促進も図っています。

⑤観光資源を活用し、鏡野町への誘客をトップセールスとして発信しているか。魅力ある地域観光振興を図っているか。

東京国際フォーラムでPR活動をしたり、大阪等で観光客の誘致活動を行なっています。24年度から後楽園のタクシー駐車場跡地利用として、県内の特産品による朝市の開催にむけ、町村会と協議中です。

官民協働の地域ネットワークを駆使し、積極的な取り組みを行なっています。

⑥子どもの育ちの環境改善の実態は。

通学合宿や、放課後子どもプラン、青少年健全育成活動等を通じて、地域のボランティアによる登下校の見守り、子供同士が考え、協力しあい、少しずつではありますがありますが、変化してきていると感じています。

★鏡野町立芳野保育園新築工事の新築工事は通常の指名だったのか。

設計金額に応じて鏡野町建設工事請負契約入札参加資格要領に規定されています、入札参加資格者によって選定しています。

町内業者1社と、鏡野町において、過去に工事実績もしくは指名、選定等の実績のある8業者、計9社を選定し、経営規模、点数、実績、信頼性をも含めて施行能力は十分であると認められたことにより、指名委員会で決定した通常の指名です。